



馬込から気持ちのよい風が吹いてくる



萬福寺だより

第25号

2016年夏号／no.25／平成28年7月1日発行

発行／曹洞宗 萬福寺護持会

HP <http://www.manpukuji.or.jp>



ご家族お揃いでお出かけ下さい



新盆法要



施餓鬼棚



いも煮会（秋彼岸）

7.13 水 新盆

7.23 土 大施餓鬼

9.22 日 秋彼岸

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

春彼岸会法要
 今年も春風亭柳朝師匠の落語でひと笑い
 平成28年3月20日(日)祝
 3月20日(日)、彼岸会法要が営まれました。午後1時から始まった、地元・大森にお住まいの春風亭柳朝師匠による落語独演会では、本堂に用意された約200席はほぼ埋まり、言葉巧みに親をだまして小遣いをせしめる子供の話「真田小僧」、



正直者同士が意地の張り合いから最後は娘を嫁がせる人情話「井戸の茶碗」の2演目に、本堂は笑いに包まれました。
 午後2時から安本由道ご住職の式師のもと、法要が厳かに営まれました。

花まつり
 甘茶をかけてお釈迦様の誕生を祝う
 平成28年4月8日(金)
 境内の桜の花もまだ咲き残る4月8日(金)、花まつりの法要が執り行われました。この日はお釈迦様のお誕生をお祝いし、屋根や四方を花で飾った花御堂の中に安置したお釈迦様の誕生仏に甘茶をかけて讃仏しました。
 参詣者には甘茶の飴が配られました。



平成27年度第6回普賢先住職会親授式(平成28年3月30日) 安本由道ご住職は前から2段目 福山院下の右より

新住職就任

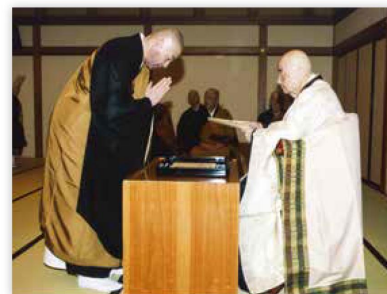
本年1月8日(日)當山二十六世太真利正大和尚遷化に伴い、3月7日日本葬儀に際し檀信徒並びに寺に關わる多くの方々にご香資、ご焼香を賜りましたこと誠に有難く、厚く御礼申し上げます。
 1月22日付「本山管長辞令」にて萬福寺住職の任を仰せつかりました。多くの皆様にご指導、ご法愛を賜わりながら今日までお務めをさせていただき、深く感謝申し上げる次第であります。檀務の方は従来と変わりがございませんが、代表役員としての任務を果たすため、微力ではありますがまだまだ諸先輩御老師、御寺院様はもとより檀信徒の皆様のお力添えをいただきながら、先代住職の法燈をしっかりと引き継いでゆく所存であります。
 辞令伝達にあたり3月下旬、宗務庁での普賢先住職研修会に出席して参りました。管長福山諦法院下より御示事の一言が次のようにありました。
 「衣食足りて礼節を知る。戦後七十年を過ぎ日本の国は素晴らしく発展してきましたが、世の中では目を覆うような犯罪が何故に増え続けるのか? 仏法をしつ

皆さまの心に寄り添い、共に喜び合える 仏様の心を求めて

る。お寺も繁栄していくには山内みな仲良しであり、快くみながご来山できる開かれた環境であり、住職と檀信徒のみなさんが寄り添うことのできる「同時行」でなければなりません。
 年中行事のなかで先祖様を大切に思い、それぞれの家庭が幸せになり、その人の幸せを喜び合える仏様の心になれることが、将来檀信徒とお寺が繁栄していくことに繋がると信じてやみません。
 行き届かないことが多々あることかと思いますが、今後共々ご指導、ご鞭撻、ご法愛を賜わりたく何卒宜しくお願い申し上げます。

合掌

かりと布教していくことがあなたの方の使命です。
 人々は何かが満たされても、満ち足りない心の迷いが節度をわきまえられない行動になるように思われます。
 また、宗務庁総務部長から結びに次の一言をいただきました。
 「日本の、いや世界でもその名の轟く実業家松下幸之助氏、本田宗一郎氏が何故に成功したのか。それはみんな仲良しだからである……。会社がよくなっていくには従業員を守りその家族が幸せになること。そうならば働くことにも専念でき、会社の中も仲良い環境が生まれ、自ずと繁栄していく。自分の考えだけを押し通すだけでなく、相手のことを理解し寄り添う姿勢が大切であ



福山院下(写真・右)より辞令を賜る安本由道ご住職

當山二十六世 太真利正大和尚の本葬儀を厳修

— 連夜・本葬儀合わせて600名が会葬 —

去る3月7日(月)、8日(火)、當山二十六世太真利正大和尚の連夜(通夜)、本葬儀が本堂にてしめやかに営まれました。7日の連夜では黄梅院御住職長谷川文浩老師を導師に、配役僧侶20名による數佛の式が行われました。翌8日、本葬儀は午前11時から始まり、弔電披露後、大本山永平寺御使、本瑞寺御住職洞外文隆老師、河原清彦護持会会長が弔辞を述べ、その後五人の仏事師により執り行われました。最後に、遺弟・安本由道住職が御列席の御寺院様、護持会・檀信徒の皆様へ謝辞を述べ、さらに平林延勝筆頭總代から、太真利正大和尚に哀悼の誠を捧げつつ、今後は安本由道新住職を中心に當山繁栄のため、精進していくとの決意表明があり、本葬儀は滞りなく終了しました。



護持会役員20名に参付し接客を担当

長く続いた会葬者の列 本葬儀



五人の仏事師(本葬儀)

連夜・本葬儀合わせて600名が会葬

萬福寺の公式ホームページをご覧ください。

馬込萬福寺

検索

<http://www.manpukuji.or.jp>

萬福寺の行事はどなたでも参加できます。

INFORMATION

仏事のご案内 ご家族皆様で参加しましょう

7.13 盂蘭盆会法要 (お盆精霊迎)

正午(12時)から新盆法要、午後1時から法話、
2時から法要

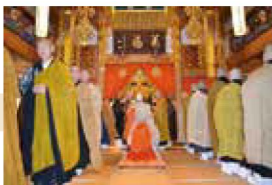
ご先祖様の精霊をお迎えにお越しください



7.23 大施餓鬼会法要

午後1時から法話、2時から法要

生きとし生けるすべての生命を慈しむ、萬福寺
最大の行事です。ぜひ皆様お参りください。



9.22 秋彼岸会法要 (心の法話)

午後1時から心の法話(手話ダンス)、
2時から法要

秋分の日、ご家族お揃いでお出かけください



10.28 鬼子母神祈願法要

午前11時から法要

お子様の健やかな成長、家内安全を祈って



イベントのご案内

10月3日(月)

日帰り研修旅行

分福茶釜の「曹洞宗 茂林寺」を参拝



萬福寺護持会では、10月3日(月)に、分福茶釜で有名な曹洞宗 茂林寺(群馬県館林市)を訪ねる日帰り研修旅行を行います。参拝後は昼食を楽しみ、皆様の親睦を深めたいと存じます。物産店での楽しいお買い物も予定しています。別紙ご案内をご参照のうえ、萬福寺受付(寺務所)へお申し込みください。

10月30日(日)

するすみ祭

昨年に引き続き、「するすみ祭」チャリティイベントを企画しています。イベントの詳細は、当山入口の掲示板にてお知らせいたします。ご家族お誘い合わせのうえ、お越しください。



11月12日(土)

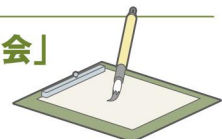
第15回「やすらぎの写経会」

会場：当山客殿(大広間・椅子席)

時間：午後1時から3時

※「般若心経」を下敷きにして写経していただきます。

本年度第2回写経会が、11月12日(土)に開催されます。お一人でも、またご家族、お友達をお誘い合わせのうえ、直接ご来山ください(参加費=千円、用紙・筆は無料貸し出し)。



御葬儀・法要の連絡は 萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

御葬儀・法要・諸行事のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

※ 梶原殿の会場使用につきましては、他社の葬儀社も利用できます。

編集後記

暑い季節となりました。7月は七夕を過ぎるとすぐにお盆、おせがきを迎えます。共にお寺にとって大事な行事ですが、今年は新住職に代わられて初めての両行事となります。

前住職の本葬を終えてまもなく、熊本を中心とする大地震がまたも起こりました。萬福寺にゆかりの深いお寺も被災しました。現地ではまだ復興の見込みもついていないようです。

大自然の巨大な力が災害となって私たちの日々の営みに襲いかかる時、人間の小ささ、無力さをひしひしと感じさせられます。宗教は人間に力を与えてくれるとよく言われますが、毎日の生活の中で私たちは何を求めてお寺に通うのでしょうか。今年のお盆・おせがきで考えてみたいと思います。